



財政あれこれ

平成4年度 上半期の 財政事情



今年度の上半期の町の財政事情は、収入及び執行状況とも順調！

収入 55%が収入済

予算額(41億7,976万円)に対して約55%(22億9,243万円)が収入済で、資金繰りは良好な状態です。

町の主たる自主財源である町税は、譲渡所得が多かったことなどにより、平成3年度決算に比べて約9%(8,000万円)程度の増加が見込まれます。また、地方交付税は特別交付税が未確定であるものの、普通

交付税が前年度決算に比べて4.7%(7400万円)の増加で決定しています。

しかし、景気落ち込みの影響により公定歩合が引き下げられたため、利子割交付金や基金利子、預金利子は前年度決算に比べて減収が見込まれます。

なお、町債(町の長期的な借入金)の収入済額は0円となっておりますが、これは事業が完了しないと町債を借りられないことや、早く借りるとその分利子を多く支払わなければならないことから、資金繰りが苦しくない限り年度末に借りる予定としているからです。



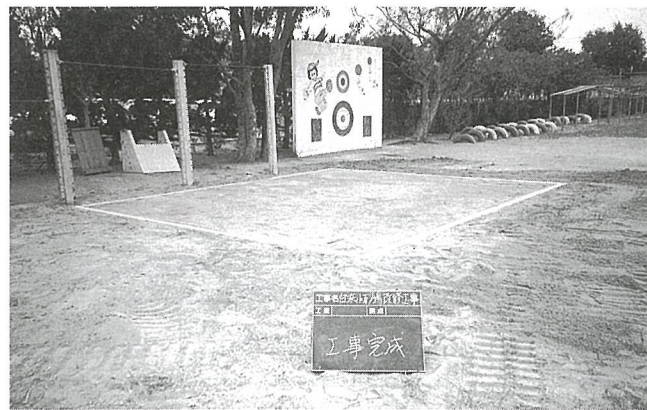
中国の視察を行った青少年海外派遣

支出
支出済額は34%

予算額に対する支払済額の割合は約34%(14億1,224万円)ですが、工事費などは完成後の支払いが多いことなどを考えると、事業は順調に執行されています。

特に公共事業(道路整備などの建設事業)の上半期における契約(発注)済率は73%を超えています。これは例年になく高い割合です。

また、7月に行った青少年海外視察研修などのソフト事業も、積極的に行ってきました。



整備された白浜小学校の砂場

工事前



今年度舗装された町道2142号線
(作間内地先)

工事後



今後に予定されている事業も計画的に推進し、健全で安定した財政運営のため努力していきます。